

日奈久っ子



八代市立日奈久小学校
学校便り 第9号
平成30年8月31日発行
文責 中村

3つのいっぱい「えがお・やるき・げんき」

2学期、さらなる子ども達の成長が楽しみです。よろしくお祈いします!

いよいよ2学期が始まりました。久しぶりに会った子ども達は、一回り大きく成長したようでうれしく思いました。始業式で「笑顔いっぱい、やる気いっぱい、元気いっぱい」に関わって次のような話をしました。

1つめは、「挨拶と返事はいつでも、どこでも、気持ちよく」

日奈久小は、挨拶できる子ども達が多いです。次のステップは「相手を意識する」を心がけることです。無表情でそっけなく言われるよりも、笑顔でていねいに言われた方が気持ちがいいですね。



2つめは「ことばづかいは相手の気持ちになって」

呼び捨てにしたり、いやな気持ちになる言い方をして、友達が悲しい気持ちにならないようにしたいですね。

3つめは、「はなしを聞いて「なっとく!」「はてな?」を伝えよう」

授業や集会でほとんどの子ども達が静かに話を聞けます。次のステップは、話をしている相手に反応を返すことです。「うなずく」「あいづちをうつ」「返事をする」「質問する」「考えを話す」等やはり相手意識が大切です。

4つめは1学期と同じで「自分でできることは自分でする。自分で気づき、考えて行動する。」

特に「宿題をがんばる」「時間いっぱい掃除をする」

学校では、先生もいて友達も一緒だから勉強できます。でも家では先生も友達もいないし、テレビやゲームやネット等楽しいものがいっぱいで、ついさぼってしまいがちです。けれど子ども達の一生を幸せにするものは、残念ながらテレビやゲームやネットではありません。時間を決めて宿題をがんばりましょう。家庭学習の手引きを1学期に配布しています。保護者の皆様の励ましをお願いします。

5つめは「自分の命も友達の命も大事にする」

「チューリップ」は、今から90年前につくられた歌なのですが、この歌の「どの花みてもきれいだな」には、「それぞれの子どもたちみんなにいいところがある」というメッセージが込められています。「一人一人のよさをもとめあいながら、一人一人が力いっぱいがんばれる日奈久小学校」にしていきたいと思ひます。

デイビット先生よろしくお祈いします

1学期末に、ALTのシャロン先生とお別れをして寂しい思いをしていましたが、2学期から新しく、サリバン・デイビット先生がALTとして本校に来て下さることになりました。先生は30歳、アメリカから来られました。世界中を旅することが好きだそうです。毎週水曜日と木曜日に本校においてになり、子ども達との外国語の授業のお手伝いをして下さいます。始業式でご挨拶を頂き、さっそく29日(木)に5、6年生の授業に入って下さいました。よろしくお祈いします。



24時間テレビ愛は地球を救う募金

8月25日(土)午後3時から午後5時まで、マルショクであった「24時間テレビ愛は地球を救うの募金活動」に、日奈久小学校からも4年から6年の15名の子ども達が、1時間ずつボランティアとして参加をしました。みんな、自主的に参加した子ども達です。最初は、あまり声が出なかった子ども達も、だんだんと「募金お願いします」「ありがとうございました」と言えるようになっていて、感心しました。募金して下さった方々の温かい心に触れることができ、心に残る良い体験ができたと思ひます。お世話頂いた婦人会の皆様を始め地域の方々、大変ありがとうございました。



さっそくがんばる日奈久っ子!

子ども達が学校に戻り、活気づきました。やはり子ども達の明るい姿や声があったこそ、学校ですね。うれしい限りです!戻ってきてくれてありがとう!



上: 4年自由研究
右上: 給食当番と給食委員
右下: 掃除時間